



外国人児童生徒等受入れフローチャート

～すべての子どもが安心して学べる学校づくり～

奈良県教育委員会事務局 人権・地域教育課

STEP1：受入れ準備（校内体制）

〈支援チームの結成〉

- 組織的な対応を確認
 - 管理職、学年主任、学級担任、日本語指導担当教員、日本語指導員（支援員）、母語支援員等
- 市町村教育委員会へ報告
 - 支援内容（必要書類・指導員・通訳等）の確認

〈書類・環境の整備〉

- 入学、転・編入書類（できれば多言語で）、学校生活のしおり（図解入り）の準備
- 教室やトイレ、手洗い場等に視覚情報（写真やイラスト等）の掲示

STEP2：保護者（と児童生徒等）との面談

〈面談までに確認・準備しておくこと、面談中に気をつけること〉

- 基本情報（児童生徒等について・学校から伝えるべきこと）は、支援チームで事前に共有
- （可能であれば）面談に同席できる「母語支援員（通訳者）」「日本語支援員」を手配
- 面談＝①穏やかな雰囲気 ②わかりやすい説明（「やさしい日本語」・視覚情報・翻訳アプリ等）

〈基本情報例〉

- ① 名前（パスポートの表記）・呼び方の確認
- ② 家庭内の言語使用状況（母語、日本語、その他）
- ③ 緊急連絡先と連絡手段（ICT活用）
- ④ 来日年齢、母国での就学状況、学習歴
- ⑤ 健康状態・アレルギー・予防接種
- ⑥ 宗教上の配慮（給食・服装・礼拝 等）
- ⑦ 放課後の過ごし方（学童保育の希望有無）
- ⑧ 滞在予定期間（短期・長期の見通し）

〈面談後すること〉

- 把握した情報→支援チームで共有→具体的支援へ
 - ・配慮が必要な事項（宗教上・服装・食べ物・アレルギー 等）は？
 - ・環境づくり（言葉の壁を軽減する）は？
 - ・日本語指導等のための時間割編成（特別の教育課程）＝ 「取り出し・入り込み」による指導は？

STEP3：受入れ当日・初期支援

1 〈全校・学級での紹介〉

児童生徒が興味や関心をもつきっかけづくり
紹介内容を本人に確認（個人情報なので丁寧に）→ 児童生徒に分かりやすく簡単に紹介

2 〈サバイバル日本語の習得支援〉 「日本語基礎」「日本語と教科の統合学習」と並行して行う（次項右下※1）

まずは、学校生活ですぐ必要となる言葉の習得を支援（3週間～半年）
具体的な場面と結びつけることが重要（「トイレ／水、いい？」「おなか、いたい」等）

3 〈学校生活のルーティーン化〉

「持ち物」「時間割」「休み時間 - 給食 - 掃除、の流れ」等の理解・定着を支援
→視覚情報を使って提示

STEP4：継続的な指導と評価

〈多様性を尊重+共に生きる学校教育の推進〉

- お互いの個性（母語・母文化等）の尊重＝「違い」を「認め合う」
 - 共に生きる＝「違い」を「楽しむ」
- 心と行動力を育てる

〈「特別の教育課程」の実施〉詳細は右下※2

- 「個別の指導計画」を作成→個に応じた指導
 - ・在籍学級での教科学習に参加できる力を養う。
 - ・個と集団の両方で「自立と共生」力を育む。
 - ・各校、できるところから無理なく始める。

〈教科指導での工夫〉

- 指示は1つずつ、短く
- 板書は必要に応じてルビふり、視覚情報を活用
- 母語の辞書活用やタブレット端末使用を許可
- 成果を具体的に評価→自己肯定感を育む

〈評価の実施〉

- 「言葉の壁」で見えづらい、その子本来の「学力・思考力」にめを向け、その成長を評価
 - ・「日本語の力」＝「学力・思考力」ではない。
 - ・指導内容と評価は、支援チーム内で共有し、次の担当者に引き継ぐ。

〈進学・転校の際の引継ぎ〉

必要な情報や日本語教育支援が途切れることのないよう、受入れ先の「担当者」に次の3点を確実に引き継ぐ。

- 日本語指導継続の必要性
- 日本語習得状況（得意なこと・課題 等）
- 配慮が必要な事項（宗教上の禁忌や、アレルギーなど健康上の注意点 等）

STEP5：アイデンティティ・進路指導

- ルーツへの誇り：母語・母文化は思考の基盤→家庭での母語使用を肯定
当該児童生徒が誇りをもってアイデンティティを培い、社会参加できる支援
- 情報収集：日頃の関わりの中で、当該児童生徒の将来への思いや願いを聴き取る
保護者への聴き取りも大切
- 進路情報の早期提供：当該児童生徒を対象とした高校入試の特別枠や、奨学金制度、卒業後の就労支援など、本人と保護者へ早期に（中1～）情報提供

日本語指導に係る県の取組・研修等の活用

〈人権・地域教育課 主催〉

- 奈良県日本語教育コーディネーター配置事業
- 母語通訳者派遣事業（県立学校のみ）
- 日本語指導研修（8月）
- 在日外国人中学生と保護者のための高校進学説明会（9月）
- 在日外国人高校生と保護者のための進学就職セミナー（12月）

〈人権・地域教育課 義務教育課 共催〉

- 日本語指導スキルアップ講座（3回連続講座）
（「外国人児童生徒等に関する指導について」）

〈（知事部局）県民暮らし課 主催〉

- 奈良県多文化共生ボランティア登録・紹介制度

Q. 困ったらどこに連絡しらいい？

- ①まずは、各学校長（支援チームの長）に相談を！
- ②各学校長⇄各市町村教委⇄県教委（情報の共有が大切です！）

参考関連サイト

〈文部科学省〉

- 帰国・外国人児童生徒教育情報
 - ◆外国人児童生徒教育に関する動画コンテンツについて
 - ◆日本語指導が必要な児童生を対象とした「特別の教育課程」の編成・実施について ※2

↓
情報検索サイト「かすたねっと」
「外国人児童生徒受入れの手引き」 ※1

- ◆帰国・外国人児童生徒教育等に関する施策

↓
「外国人児童生徒のための就学ガイドブック」

QR

